

第 2 回総合部会意見への対応方針（案）

意見書様式（修正文書用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

				総 合 部 会			
番号	章	頁	行	報告書（素案）本文	意見（修正文書等）	理由等	審議結果（案）
1	3章	P411	37行	平成29年に44人と基準値より前 進しているが	【修正文書を検討】	基準値は45人。1人の減少で前 進しているとは言えないのでは ないか。「横ばい」としてはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】
2	3章	P411	37行	これらの取り組みなどにより、交通 事故死者数については、平成29 年に44人と基準値より前進してい るが、近年、高齢者や二輪車事 故等が増加傾向にあり、目標 値の達成に向けて一層の施策 推進が必要である。	【修正文書を検討】	高齢者による交通事故が増加傾 向にあると記していることから、これ まで高齢者を対象として交通安 全対策として取り組んだものがあ れば記述していただきたい。 近年、高齢者ドライバーによる事 故が増え社会問題となっている が、今後、後期高齢者が増え認 知機能や判断力が低下する高 齢ドライバーが増えることが予想さ れる。一方で移動手段として自家 用車を使用している状況なので 運転が出来なくなると日常生活に 心身ともに大きな影響を及ぼす。 そのため、高齢者を対象とした交 通安全対策は重要な課題と考え る。 例えば、高齢者運転免許自主 返納サポート事業など	【委員意見を踏まえ修正】 文案に「高齢運転者に対する自動車教習所 等と連携した安全運転サポート車等を活用し たドライビングスクールの開催をより一層推進す る必要がある。」等の文言を追記する。
3	3章	P413	2行	交通安全対策の推進について は、事故防止対策として、飲酒 運転根絶を図るため「沖縄県飲 酒運転根絶条例」に基づいた各 種対策を推進するほか、信号機 の増設を始め、老朽化した信号 機や道路標識等の新設・更新に 取り組む必要がある。	【修正文書を検討】	社会の沖縄にあって、後期高 齢者や認知症高齢者の増加など 高齢者ドライバーによる事故防止 は今後の交通安全対策の主要 な課題と考えるので課題及び対 策に追記することを提案したい。	【委員意見を踏まえ修正】 文案に「高齢運転者に対する自動車教習所 等と連携した安全運転サポート車等を活用し たドライビングスクールの開催をより一層推進す る必要がある。」等の文言を追記する。

意見書様式（修正文書用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

					総合部会		
番号	章	頁	行	報告書（素案）本文	意見（修正文書等）	理由等	審議結果（案）
4	3章	P412	8行	二一ズの掘り起こしを図る	充妻を図る	原文だと消極的イメージがある。後手の対応でなく、消費者教育・啓発の積極的対応とする。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する
5	3章	P413	9行	消費者トラブルの未然防止	複雑化、多様化する消費者トラブルの未然防止	情報化、高齢化等により消費者トラブルが変化している事を示唆するため	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する
6	3章	P429	20行	県民の社会参加～地域の抱える課題も複雑化している。地域住民一人ひとりが～拡大する事が課題である。	県民の社会参加～地域の抱える課題も複雑化しており、地域住民～	原文のままだと、県民の社会参加活動及び協働の取組みの促進については、地域の抱える課題も複雑化している。となり、主語と述語がかみ合わない。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する
7	3章	P411	33行	交通安全対策の推進については、飲酒運転の取り締まり体制の強化と各季の交通安全運動や飲酒運転根絶県民大会、高校生による飲酒運転根絶メッセージのラジオCM、交通信号機の集中制御化、事故危険箇所の指定・登録及び滑り止め舗装整備等の各種交通事故抑制対策を推進した。	【修正文書を検討】	素案ではハード面の記載となっており、ソフトの面での記載も加えた方がいいのではないか。社会全体で受け止める啓発活動の内容を加えることが必要ではないか。	【委員意見を踏まえ修正】 文案に「運転マナーの向上に向けた交通安全教育を推進」の文言を追記する。
8	2章	P116	27行	米軍演習等に関連する航空機の墜落事故、実弾演習等による原野火災や流弾事故、・・・が発生している。	【修正文書を検討】	説得性を持たせるため、過去8年の間における事故の具体的な件数及び内容等を記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

		総 合 部 会					
番号	章	頁	行	報告書（素案）本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果（案）
9	2章	P117		※米軍基地以外の犯罪について	【修正文案を検討】	沖縄での特殊詐欺、高齢者ドライバーによる交通事故、児童虐待の件数等について、記載した方がよいのではないか。次の振計に課題としてあげるため。	【委員意見を踏まえ修正】 特殊詐欺発生件数、高齢者ドライバーによる交通事故件数等について追記する。 児童虐待件数については、P76【図表2-2-1-4-11】で記載している。
10	3章	P411	33行	※交通安全対策について	【修正文案を検討】	「ながら運転」も記載してはどうか。スマホ、携帯がらみの事故が全国的に増えているため。	【委員意見を踏まえ修正】 携帯電話使用を原因として発生した事故件数について追記する。
11	3章	P411	33行	※交通安全対策について	【修正文案を検討】	バイク、スクーターの運転マナーについて、記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】 二輪車運転者に関する事故件数及び交通違反件数について追記する。
13	3章	P411	33行	※交通安全対策について	【修正文案を検討】	レンタカーによる事故件数について、記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】 レンタカーによる事故件数について追記する。
14	3章	P412		※指標について	—	指標数が少ないので、大きなトピックごとにでもかまわないので、件数等掲載してはどうか。	【委員の意見を踏まえ修正】 No9～14で対応予定。
15	3章	P410		※県民意識調査の数値について	【修正文案を検討】	県民意識調査のどの数値が掲載されているのかわかりにくい。	【委員の意見を踏まえ修正】

意見書様式（修正文書用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

								総合部会	
番号	章	頁	行	報告書（素案）本文	意見（修正文書等）	理由等	審議結果（案）		
16	3章	P429		※NPO認証法人数	【P427、42行目に追記する】 <u>なお、平成29年度末に活動しているNPO法人のうち、保健・医療又は福祉の増進を図る活動は300法人、社会教育の増進を図る活動は285法人、まちづくりの推進を図る活動は266法人となっている。（複数の活動分野を目的とする法人も含む）</u>	分野別のNPO認証法人数を追記してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】 成果指標については、21世紀ビジョン策定時に定められ、NPO法人の設立手続き等に対する支援は分野にとらわれず行っていることから、原文どおりとしたい。 なお、P427の成果等の欄に、分野別のNPO認証法人数を左案のとおり追記する。		
17	3章	P428	21行	男女共同参画社会の実現については、啓発講座の実施	男女共同参画社会の実現については、 <u>一般県民や企業向けの啓発講座の実施</u>	意識啓発については、女性だけではなく雇用者側への意識啓発も必要。商工労働部と連携して具体的な取組を入れてはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する		
18	3章	P429	24行	このため、市民活動団体のNPO法人化の支援や運営基盤の強化、NPO法人に関する情報公開を引き続き推進する必要がある。	このため、 <u>地域における市民活動団体の充実した活動ができるよう市町村とも連携を図りながら</u> NPO法人化の支援や運営基盤の強化、NPO法人に関する情報公開を引き続き推進する必要がある。	「地域組織との連携強化」を入れたいはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する		
19	3章	P427	18行	<目標とするすがたの状況> 女性が社会活動に積極的に参加し、能力を発揮できること	—	女性自身がどう考えているかを示した方が課題が明らかになるため、示した方がよい。	【原文のとおり】 「女性が社会活動に積極的に参加し、能力を発揮できることについて」の基準年及び現状値は、ほぼ男女差が見られないことから、原文のとおりとしたい。 基準年：（合計）9.1%（男）9.0%（女）9.3% 現状値：（合計）24.8%（男）24.7%（女）24.8%		

意見書様式（修正文書用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

						総 合 部 会	
番号	章	頁	行	報告書（素案）本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果（案）
20	3章	P427	18行	＜目標とするすがたの状況＞ 女性が社会活動に積極的に参加し、能力を発揮できること	—	全国比較できるデータがあれば記載してはどうか。	【原文のとおり】 今後比較できるデータがあれば、反映を検討したい。
21	3章	P427	16行	＜目標とするすがたの状況＞	【修正文案を検討】	目標とするすがたと県民意識調査の調査項目をリンクさせてほしい。	【委員意見を踏まえ修正】
22	3章	P427	3行	一人ひとりが世代や性別に関わりなく、…	【修正文案を検討】	世代・性別間以外にも、国籍が違ふ人々とも共助・共創できる社会ということを記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】
23	2章	P118	図表2-2-1-8-2	米軍基地関係の事件・事故	【修正文案を検討】	図表全般について、出典をわかりやすくしてほしい。（資料名、該当箇所頁等）	【委員意見を踏まえ修正】
24	3章	P416	9行	「米軍基地から派生する諸問題への対策が適切に講じられていること」に対する県民満足度は、10%前後で推移している。	「米軍基地から派生する諸問題への対策が適切に講じられていること」に対する県民満足度の県民満足度は、平成24年は9.1%、平成27年には12.7%となつたが、平成30年には11.9%に低下し、10%前後で推移している。	H24とH30を比較すると県民満足度は向上しているが、P117の県民意識調査結果では、H27からH30は下がっている。県民の意識が下がっていることは重視する必要があるので、何らかの記載が必要ではないか。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する。
25	2章	P116	38行	「米軍基地から派生する諸問題への対応に関する県民意識調査の県民満足度は10%前後で推移している。	米軍基地から派生する諸問題への対応に関する県民意識調査の県民満足度は、平成24年は9.1%、平成27年には12.7%となつたが、平成30年には11.9%に低下し、10%前後で推移している。	H24とH30を比較すると県民満足度は向上しているが、P117の県民意識調査結果では、H27からH30は下がっている。県民の意識が下がっていることは重視する必要があるので、何らかの記載が必要ではないか。	【委員意見を踏まえ修正】 左案のとおり修正する。

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

		総合部会					
番号	章	頁	行	報告書（素案）本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果（案）
26	2章	P118	図表2-2-1-8-2	米軍基地関係の事件・事故	米軍基地関係の事件・事故（刑法犯や交通事故等を除く）の 推 移(H14-H30)	H14からの記載にしてはどうか。また、P416の図表3-2-5-1も同じ表なので、図表3-2-5-1は削除してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】左案のとおり修正する。P416の表については、重複するため削除する。
27	3章	P416	図表3-2-5-1	米軍基地から派生する事件・事故（刑法犯や交通事故等を除く）の推移	図表の削除	H14からの記載にしてはどうか。また、P416の図表3-2-5-1も同じ表なので、図表3-2-5-1は削除してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】左案のとおり修正する。P416の表については、重複するため削除する。
28	2章	P119	19行	…嘉手納飛行場より南の施設・区域の返還が確実に実施されるよう…	【修正文案を検討中】	P119の（課題）のところに急に嘉手納以南の内容が出てくるので、P116の（現状）で記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】嘉手納以南の内容について、P116の現状の説明に追記する。
29	2章	P116	23行	本県では、戦中及び米軍統治下における米軍による強制接種等による基地建設や、…広大な米軍基地が形成された。	【修正文案を検討中】	1950年代、1970年代など移転されてきた節目の年代があるので、その内容を記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】
30				※県外からの基地移転について 質問		機能移転だけではなく、面積も増えているのか。	確認中
31	2章	P117	23行	全国知事会議において「米軍基地負担に関する提言」が全都道府県による全会一致で決議され、	全国知事会議において、 日米地位協定の抜本的な見直しや基地の整理・縮小・返還の促進などを含む「米軍基地負担に関する提言」 が全都道府県による全会一致で決議され、	全会一致の内容を記載してはどうか。	【委員意見を踏まえ修正】左案のとおり修正する。

意見書様式（修正文案用）
（沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）に対する意見）

					総合部会		
番号	章	頁	行	報告書（素案）本文	意見（修正文案等）	理由等	審議結果（案）
32				※道路案内及び道路工事の案内表示について		現在の案内は、日本語と英語表記となっている。中国、韓国の観光客も多いため、多言語化が必要ではないか。	【基盤整備部会へ申し送る】
33		資料5(検証シート)		成果指標の達成状況の定義について		定義の記載がないため、記載した方がよい。	会議資料(参考1)を添付する。
34		資料5 P2		日米両政府への要請活動	「進展」	達成状況を「達成」とするのは違和感があるため、「計画どおり実施」などにしてはどうか。	左案のとおり修正する。
35	2章	P118	図表2-2-1-8-2	米軍基地関係の事件・事故 質問		(刑法犯や交通事故等を除く)となっているが、除く理由は何か。	P118の事件・事故には演習等に伴う航空機事故等が含まれており、刑法犯や交通事故とは性質が異なることから、除いている。
36	2章			※「沖縄のころ」について	【修正案はP8以降参照】	「沖縄のころ」の定義を記載してはどうか。「沖縄のころ」「沖縄の心」が多用されており、整合性が図れていないため	【委員意見を踏まえ修正】平和を希求する「沖縄のころ」の説明を追記する。あわせて「沖縄の心」について、記載を整理する。

○「沖繩のころ」(13箇所)

No	ページ、行数	修正前	修正後	備考
1	P10-1行目	アジアに近接する地理的特性を生かし、経済、学術、文化等における多角的な交流や平和交流、技術協力等の国際貢献活動といった交流を促進する中で、本県の潜在力は引き出されるものと考えられる。その際に、これまでの歴史の中で守り、育んできた自然や風土、文化、平和を希求する「沖繩のころ」など人々を魅了し惹きつける沖繩の「ソフトパワー」が本県の強みともなり得る。	アジアに近接する地理的特性を生かし、経済、学術、文化等における多角的な交流や平和交流、技術協力等の国際貢献活動といった交流を促進する中で、本県の潜在力は引き出されるものと考えられる。その際に、これまでの歴史の中で守り、育んできた自然や風土、文化、 <u>平和を希求する「沖繩のころ」</u> など人々を魅了し惹きつける沖繩の「ソフトパワー」が本県の強みともなり得る。	【委員意見を踏まえ修正】 表現の整理のため、 <u>平和を希求する「沖繩のころ」</u> の表記は削除する。
2	P13-26行目	かつて琉球王国の時代においては、日本、中国、韓国、東南アジア諸国との交流を続け、戦後は米国からの影響も受けるなど多様な地域との交流を蓄積してきた。こうした歴史的体験から、親和性、寛容性、おおらかさなど多様性を受け入れる共生の精神を育んできた。 先の大戦での悲惨な経験からの平和を希求する「沖繩のころ」 <u>上</u> 、人権尊重と共生の精神を基に、伝統、文化、自然環境など沖繩の「ソフトパワー」を生かした国際社会への貢献を図り、アジアを始め世界を結ぶ架け橋「万国津梁」となることが求められる。	かつて琉球王国の時代においては、日本、中国、韓国、東南アジア諸国との交流を続け、戦後は米国からの影響も受けるなど多様な地域との交流を蓄積してきた。こうした歴史的体験から、親和性、寛容性、おおらかさなど多様性を受け入れる共生の精神を育んできた。 <u>悲惨な沖繩戦の経験に基づき</u> 平和を希求する「沖繩のころ」 <u>上</u> 、人権尊重と共生の精神を基に、伝統、文化、自然環境など沖繩の「ソフトパワー」を生かした国際社会への貢献を図り、アジアを始め世界を結ぶ架け橋「万国津梁」となることが求められる。	【委員意見を踏まえ修正】
3	P139-15行目	アジア・太平洋地域における結節機能を生かし、国際協力・貢献活動や <u>平和を希求する「沖繩のころ」</u> の発信など、日本とアジア・太平洋地域の共通の課題解決に向けた交流を展開し、国際的な貢献活動の軸となる地域の形成を目指している。	アジア・太平洋地域における結節機能を生かし、国際協力・貢献活動や <u>平和を希求する「沖繩のころ」</u> の発信など、日本とアジア・太平洋地域の共通の課題解決に向けた交流を展開し、国際的な貢献活動の軸となる地域の形成を目指している。	【原文のとおり】
4	P145-41行目	国際社会の平和と持続的安定に貢献するため、 <u>平和を希求する「沖繩のころ」</u> を内外に強く発信するとともに、次世代に継承する取組を推進してきた。	国際社会の平和と持続的安定に貢献するため、 <u>平和を希求する「沖繩のころ」</u> を内外に強く発信するとともに、次世代に継承する取組を推進してきた。	【原文のとおり】
5	P146-4行目	<u>平和を希求する「沖繩のころ」</u> を国内外へ強く発信し、次世代に継承するため、昭和50年に沖繩県立平和祈念資料館を開館	<u>平和を希求する「沖繩のころ」</u> を国内外へ強く発信し、次世代に継承するため、昭和50年に沖繩県立平和祈念資料館を開館	【原文のとおり】

No	ページ、行数	修正前	修正後	備考
6	P147-21行目	平和を希求する「沖繩のころ」を国内外へ強く発信し、沖繩戦の実相・教訓を次世代に継承することを目的に、昭和50年6月に沖繩県立平和祈念資料館を開館した。	平和を希求する「沖繩のころ」を国内外へ強く発信し、沖繩戦の実相・教訓を次世代に継承することを目的に、昭和50年6月に沖繩県立平和祈念資料館を開館した。	【原文のとおり】
7	P148-9行目	国内外へ平和を希求する「沖繩のころ」を発信	国内外へ平和を希求する「沖繩のころ」を発信	【原文のとおり】
8	P148-23行目	県民の平和を希求する「沖繩のころ」の国内外への発信、次世代への継承が課題	県民の平和を希求する「沖繩のころ」の国内外への発信、次世代への継承が課題	【原文のとおり】
9	P622-4行目	平和を希求する「沖繩のころ」の発信など、日本とアジア・太平洋地域の共通課題の解決に向けた積極的な交流を展開し、国際的な貢献活動の軸となる地域の形成を目指す	平和を希求する「沖繩のころ」の発信など、日本とアジア・太平洋地域の共通課題の解決に向けた積極的な交流を展開し、国際的な貢献活動の軸となる地域の形成を目指す	【原文のとおり】
10	P622-23行目	平和を希求する「沖繩のころ」の発信など、様々な分野で国際協力・貢献活動を推進し、我が国及びアジア・太平洋地域の平和と持続的発展に寄与する地域を目指すための取組を行う必要がある。	平和を希求する「沖繩のころ」の発信など、様々な分野で国際協力・貢献活動を推進し、我が国及びアジア・太平洋地域の平和と持続的発展に寄与する地域を目指すための取組を行う必要がある。	【原文のとおり】
11	P624-28行目	太平洋戦争において一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた悲惨な経験に基づき、戦没者のみ霊（たま）を慰め、平和を希求する「沖繩のころ」を内外に強く発信し、次世代に継承するための取組を行った。	太平洋戦争において一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた悲惨な経験に基づき、戦没者のみ霊（たま）を慰め、平和を希求する「沖繩のころ」を内外に強く発信し、次世代に継承するための取組を行った。	【原文のとおり】
12	P625-18行目	国内外に向けた平和の発信と次世代への継承については、戦後70年が過ぎ、沖繩戦の悲惨な体験の記憶が薄れていく中で、今後この沖繩戦の歴史的教訓及び「命どう宝」の平和を希求する「沖繩のころ」を次世代に継承するとともに、国内外に発信していく必要がある。	国内外に向けた平和の発信と次世代への継承については、戦後70年が過ぎ、沖繩戦の悲惨な体験の記憶が薄れていく中で、今後この沖繩戦の歴史的教訓及び「命どう宝」の平和を希求する「沖繩のころ」を次世代に継承するとともに、国内外に発信していく必要がある。	【原文のとおり】
13	P727-20行目	沖繩戦の歴史的教訓を次世代に伝え、平和を希求する「沖繩のころ」を国内外に向けて発信するため、沖繩県平和祈念資料館における様々な企画展の開催、戦争体験者の証言をサイトに掲載するなどの取組を行った。	沖繩戦の歴史的教訓を次世代に伝え、平和を希求する「沖繩のころ」を国内外に向けて発信するため、沖繩県平和祈念資料館における様々な企画展の開催、戦争体験者の証言をサイトに掲載するなどの取組を行った。	【原文のとおり】

○ 「沖繩の心」(5箇所)

No	ページ、行数	修正前	修正後	備考												
1	P3-3行目	本県は平成8年11月に「国際都市形成構想」を策定した。同構想は、「『共生』の思想や『平和』を指向する沖繩の心を大切にし、本県の『自立』を図ること」を基本理念とし、「自らの歴史・文化・自然環境等の特性を生かした多面的交流を推進することにより、本県の自立的発展を図るとともにアジア太平洋地域の平和と持続的発展に寄与する地域の形成」を基本目標とした。	-	【原文のとおり】 「国際都市形成構想」の基本理念に明記されているため、原文のとおりとする。												
2	P11-37行目	本県の風土や食文化等に支えられた健康・長寿、「イチャリバチョーデー」、「ユイマール」等の <u>沖繩の心に根ざした相互扶助の精神</u> は、心豊かで、安全・安心な地域社会を創造していく上で欠かすことのできない重要な要素である。	本県の風土や食文化等に支えられた健康・長寿、「イチャリバチョーデー」、「ユイマール」等の <u>沖繩の心に根ざした相互扶助の精神</u> は、心豊かで、安全・安心な地域社会を創造していく上で欠かすことのできない重要な要素である。	【委員意見を踏まえ修正】 表現の整理のため、「 <u>沖繩の心に根ざした</u> 」の表記は削除する。												
3	P146-24行目	質問項目： <u>平和を願う沖繩の心</u> が次世代に継承され、世界に発信されていること	-	【原文のとおり】 県民意識調査の項目名のため、原文のとおりとする。												
4	P622-11行目	「 <u>平和を願う沖繩の心</u> が次世代に継承され、世界に発信されること」は4.9ポイント増加し、県民満足度が向上している。	-	【原文のとおり】 県民意識調査の項目名のため、原文のとおりとする。												
5	P622-14行目	<p><目標とするべき状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>沖繩県の現状 (基準年)</th> <th>沖繩県の現状 (現状値)</th> <th>R3年度の目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄の特性や技術等を生かした国際協力・買付活動が盛んなこと</td> <td>18.5% (H24年県民意識調査)</td> <td>20.0% (H30年県民意識調査)</td> <td>県民満足度の向上</td> </tr> <tr> <td>平和を願う沖繩の心が次世代に継承され、世界に発信されていること</td> <td>26.2% (H24年県民意識調査)</td> <td>31.1% (H30年県民意識調査)</td> <td>県民満足度の向上</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	沖繩県の現状 (基準年)	沖繩県の現状 (現状値)	R3年度の目標	沖縄の特性や技術等を生かした国際協力・買付活動が盛んなこと	18.5% (H24年県民意識調査)	20.0% (H30年県民意識調査)	県民満足度の向上	平和を願う沖繩の心が次世代に継承され、世界に発信されていること	26.2% (H24年県民意識調査)	31.1% (H30年県民意識調査)	県民満足度の向上	-	【原文のとおり】 県民意識調査の項目名のため、原文のとおりとする。
項目名	沖繩県の現状 (基準年)	沖繩県の現状 (現状値)	R3年度の目標													
沖縄の特性や技術等を生かした国際協力・買付活動が盛んなこと	18.5% (H24年県民意識調査)	20.0% (H30年県民意識調査)	県民満足度の向上													
平和を願う沖繩の心が次世代に継承され、世界に発信されていること	26.2% (H24年県民意識調査)	31.1% (H30年県民意識調査)	県民満足度の向上													